

2023年11月吉日

公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター
理事長 武谷 典昭

2023年度原環センター研究発表会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊センターは、1976年10月の設立以来、関係各位のご指導、ご支援を頂きながら、放射性廃棄物の安全かつ合理的な処理処分の実現に求められる様々な試験、研究、開発、調査等を推進し、その成果の普及に努めてまいりました。

このたび、2023年度原環センター研究発表会として、弊センターの調査研究のトピックスの発表及び経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 放射性廃棄物対策課長 下堀友数氏をお招きした特別講演「最終処分の現状と今後の取組について」を企画いたしました。

対面及びオンライン併用で開催いたします。ご多忙中とは存じますが、多数ご参加いただければ幸いです。

敬具

記

1. 開催日時 2023年12月8日（金） 13:30～16:30（対面開催受付開始 13:00）

2. 開催方法

（1）対面開催

会場：星陵会館ホール

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2 電話 03-3581-5650

地図：<https://www.seiryokai.org/kaikan/map.html>

（2）オンライン開催

Cisco Webex での開催となります。オンライン参加のための接続情報、配布資料のダウンロード等のご案内は、開催日前日までに、お申込み時にご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。

3. プログラム 別紙

4. お申込み

2023年12月4日（月）15時までに弊センターホームページ（<https://www.rwmc.or.jp/>）の【2023年度原環センター研究発表会のご案内】からお申込みください。

定員（対面参加）は150名とさせていただきます。定員に達しましたら、お申込みを締め切らせていただきますので、ご注意ください。なお、オンライン参加には定員はありません。

5. お問い合わせ

（公財）原子力環境整備促進・資金管理センター 企画部 吉澤／藤原

東京都中央区明石町6番4号 ニチレイ明石町ビル12階

電話 03-6264-2111（代表） 電子メール kenkyu@rwmc.or.jp

プログラム

開催日：2023年12月8日（金）

開 会（13:30）（対面開催受付開始 13:00）

1.挨拶（13:30～13:40） 理事長 武谷 典昭

2.研究発表（13:40～15:00）

TRU 廃棄物の廃棄体パッケージの開発～製作性と閉じ込め性の課題への挑戦～

地層処分バリアシステム研究開発部 藤井 直樹

丸山 紀之

休 憩（15:00～15:15）

3.特別講演（15:15～16:30）

最終処分の現状と今後の取組について

経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部

放射性廃棄物対策課長 下堀 友数 氏

閉 会（16:30）

研究発表「TRU 廃棄物の廃棄体パッケージの開発 ～製作性と閉じ込め性の課題への挑戦～」概要

TRU 廃棄物の地層処分の実施にあたり、放射性廃棄物を収納する廃棄体パッケージには、設計要件として、製作性、耐食性、構造健全性に加え、操業中及び回収を維持する期間における安全性の観点から、閉鎖後 300 年程度の放射性物質の閉じ込め性能が求められています。

当センターでは、金属製の廃棄体パッケージ容器に封入して閉じ込め性能を持たせた廃棄体パッケージの設計要件を満たすために必要な課題を整理し、その解決に向けた対策を検討するとともに、実規模大の廃棄体パッケージを製作して廃棄体パッケージの製作性を実証的に確認しました。

今回の報告では、廃棄体パッケージの閉じ込め性に影響する要因とその製作工程における課題、実規模大の製作確認試験で確認した現状の製作技術、さらなる安全性の向上及び閉じ込め性の信頼性の向上の観点で重要な製作上のポイントや留意点についてお話しします。

特別講演「最終処分の現状と今後の取組について」概要

わが国では、過去半世紀にわたり原子力を利用してきた結果、それに伴い発生した使用済燃料が、全国の原子力発電所等に保管されています。使用済燃料の再処理により発生する高レベル放射性廃棄物は、人々の生活環境に影響を与えないように地層処分（最終処分）する方針です。この方針は 2000 年に制定された「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」で定められています。処分場選定の調査に応募いただける自治体が現れない状況が続く中、2017 年に国が「科学的特性マップ」を公表し、これを契機に、原子力発電環境整備機構とともに全国で対話活動を展開してきました。こうした活動の中、2020 年 11 月に北海道寿都（すつつ）町と神恵内（かもえない）村において文献調査を開始させていただきました。このような過去の経緯を御紹介しつつ、最終処分の現状、今後の取組について説明いたします。